

各 位

会 社 名 兼松株式会社
 本 店 所 在 地 神戸市中央区伊藤町 119 番地
 代表者役職氏名 代表取締役社長 三輪 徳泰
 コ ー ド 8020
 上 場 取 引 所 東証・大証各市場第一部
 問 い 合 わ せ 先 東京本社 主計部長 作山 信好
 TEL (03)5440-8979

平成20年3月期中間期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月18日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成20年3月期 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	625,000	11,000	8,500	4,000
今回修正予想 (B)	613,600	12,500	10,900	5,500
増 減 額 (B-A)	▲ 11,400	1,500	2,400	1,500
増 減 率	▲ 1.82%	13.64%	28.24%	37.50%
(ご参考) 前期実績 (平成18年9月期)	618,050	12,071	9,383	6,271

2. 修正の理由

新中期経営計画「TeamKG120」の初年度となった当中間期の連結業績につきましては、引き続き堅調な国内外の経済環境を背景として順調に推移しており、営業利益、経常利益、当期純利益とも期初見通しを大きく上回る見込みです。

売上高は、穀物価格の高止まりにより食糧事業が伸張している一方、エネルギー事業での減少があり、グループ全体としては期初の見通しに比べ微減となりました。

他方、利益面においては、特殊鋼、工作機械、モバイル関係の事業が依然好調なうえ、ここ数年低迷していた食品・食糧部門が米国産ビーフの輸入再開や穀物相場の上昇によって回復基調にあり、全体として大幅な増益となる見込みです。

なお、通期の見通しにつきましては、サブプライム問題に端を発した金融面での混乱による、為替レートや我が国を含む各国の実体経済に及ぼす影響が不透明なことから、現時点では平成19年10月1日に発表いたしました通期連結業績予想を据え置くことといたします。

〈ご参考〉

平成20年3月期 通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
予想(平成19年10月1日発表)	1,300,000	23,500	19,000	16,000

※ 業績予想に関する留意事項

上記の予想値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、将来の業績に影響を与える可能性のある不確実な要素を含んでおります。従いまして本資料を投資判断等に利用される場合は、実際の業績が今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がある事をご承知の上利用されるようお願いいたします。

以 上